

大和北小児童、木材住宅工場を見学



木材に金具を取り付ける作業を体験する児童＝郡上市大和町島、ヤマシタ工務店

古里の森、大切にしたい

柱加工や森林育成学習

郡上市大和町剣の大和北小学校の児童が26日、同町島の大和工業団地のヤマシタ工務店岐阜工場を訪れて、住宅に使われる木材などについて学んだ。

(佐名妙子)

同校の総合学習の一環で、同社の協力を得て行った。5年生25人が参加した。

同社岐阜工場は木材をはりや柱に加工する工場。初めに石田幸次常務が日本の森林の状況について説明し、岐阜県は、森林率が高知県に次いで全国2位で、森林資源が豊富なことを紹介した。

また「山や木を育てていくには50年、70年という長い年月がかかる。草を刈ったり、間伐したりして、木が真つすぐ成長できるように工夫しないといけない」と木を育てる苦労に触れ、「70年たつて1人前になって初めて木を切って、製材できる」と木材になるまでについて語った。

その後、児童は、同社社員の指導を受けながら、くいを打って柱とほりをつなげる作業を体験。また、工場で加工されたはりや柱を使った一般住宅も見学した。

参加した白田旺汰君(11)は「岐阜県の森林率が2位だと聞き、驚いた。くい打ちが楽しかった」と話した。